ISSN 0919-4657

KONC

関西自然保護機構会誌

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

29巻2号（通算54号）



2007年12月

関西自然保護機構

表 紙 の 言 葉

「カシノナガキクイムシによる穿入を受けて枯死したミズナラ」

写真　京都市風致保全課
文　　小林　正秀

ブナ科樹木がカシノナガキクイムシという小さな甲虫によって幹に穴をあけられ，集団的に枯れる被害が拡大しています。この被害は，カシノナガキクイムシが運搬する病原菌が主因ですが，燃料革命以降の薪炭林の放置によってカシノナガキクイムシの繁殖に適した大径木が増えていることが誘因の一つになっています。この写真は，ヘリコプターによる上空からの被害調査時に，京都市北部周辺の被害地を撮影したものです。

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization for Nature Conservation）

KONC は自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して，自然環境保全に関する各分野での研究を結集し，その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして，1978年に創立されました。

KONC はその活動の成果と，会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて，近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザリー・ボディ（助言勧告機関）として，社会の要請にこたえることを企図しています。

現在，次のような活動をしています。

1．基礎研究の実施
2．シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3．現地見学会の開催
4．研究助成金の交付
5．会誌・連絡紙の発行
6．自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7．自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8．国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は，個人会員・維持会員の会費により，まかなわれています。